

Kodak
LICENSED PRODUCT

© The Tiffen Company, 2000

KODAK Color Control Patches

Centimetres

3/Color

White

Magenta

Red

Yellow

Green

Cyan

Blue



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



近代長者鑑

四



13 遠へ
1681
4



1681
4

近代長者鑑考之第四

目録



張長友の令記の山科仕合の作

家種に升角の巻に只中藏ある種に筆
他と度おの投考にたうらのまね筆
ごくらくへ川揚屋町細側れ細川屋

水日嗣れ簿子見して透ても底のまねね

おれお裁れ簿いうまをれまうあ
枝冊の簿れ杖つりそとるれね果
振舞いさりと爰おれ端をいげん

中 交禮堂



と氣れきねひの女三乃の備後備

小判れを治てまゝとあまのれ大魚
女船れをうひの河竹れがれ灌頂
糸れ命をいそめてとあまのねまをたか

小式れねのえふおあれ思ひを

くはれれ揚りけの軍合盛のあま
實れくうの松もあまのあまの足
甲魚はあまのあまのあまのあま

進代長者燈まの之第

燈屋のあまのあまのあまのあま

ワケのあまのあまのあまのあま
の月をまて鏡はあまのあまのあま
のあまのあまのあまのあまのあま
小女をまてはあまのあまのあまのあま
家屋をまてはあまのあまのあまのあま
にもあまのあまのあまのあまのあま
んにもあまのあまのあまのあまのあま
ふらあまのあまのあまのあまのあま
あまのあまのあまのあまのあまのあま

二處に居るをこの山に居るはがねの少神の小町と云うがら
 りふ。されは清少納言の御衣式に於ては御衣甲赤がねの御つづ
 れらありまればあまもあらじほ。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ
 め子と云ふは入れ合のつと大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ
 久も代つと云ふは御衣甲赤がねの御つづ。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ
 すび。久七の御衣甲赤がねの御つづ。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ
 りもも。金致の御衣甲赤がねの御つづ。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ
 まは。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ
 もあり。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ
 とう。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ
 けり。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ

浦藤はあつ果報の御衣甲赤がねの御つづ。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ
 尋ねて。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ
 希ひまされ。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ
 山科の御衣甲赤がねの御つづ。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ
 るは。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ
 貴族。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ
 名は。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ
 らく。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ
 と。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ
 探。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ
 中。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ。お大急ぎの御衣甲赤がねの御つづ

は酒一と守んろう。懐炭考の内よ。びすび厚今此定ぬと。
金れじらうやう中と遠の棚座がちを皆ぬんらう形か
さや廊下格のりりやとをゆふ。と澄ましてもあつらところちん
つらま門わつて清をとり子額ありけ。廊下ととをせんば
様心おちめ心。躑躅心るねらむとつ月よかがりつて。四
季れ氣多とらうせらう。藝心とすと。泉あはれおれよつとこ
と。そうく奥ふ入れの井た。庭形ふ。妹背れ井との子額あり
て。ちやれふ小緋書とらうらごめい。事種れ井筒よる。種れ志
のび車減金れうかお。おとやと大いあ。と。絶更の約務か
いげやうかあふおのう。大竹の社合といあつらまよと。忠志んぬ
るやと。お。氣とつてゆへに。いりふりて。枚のぬまね

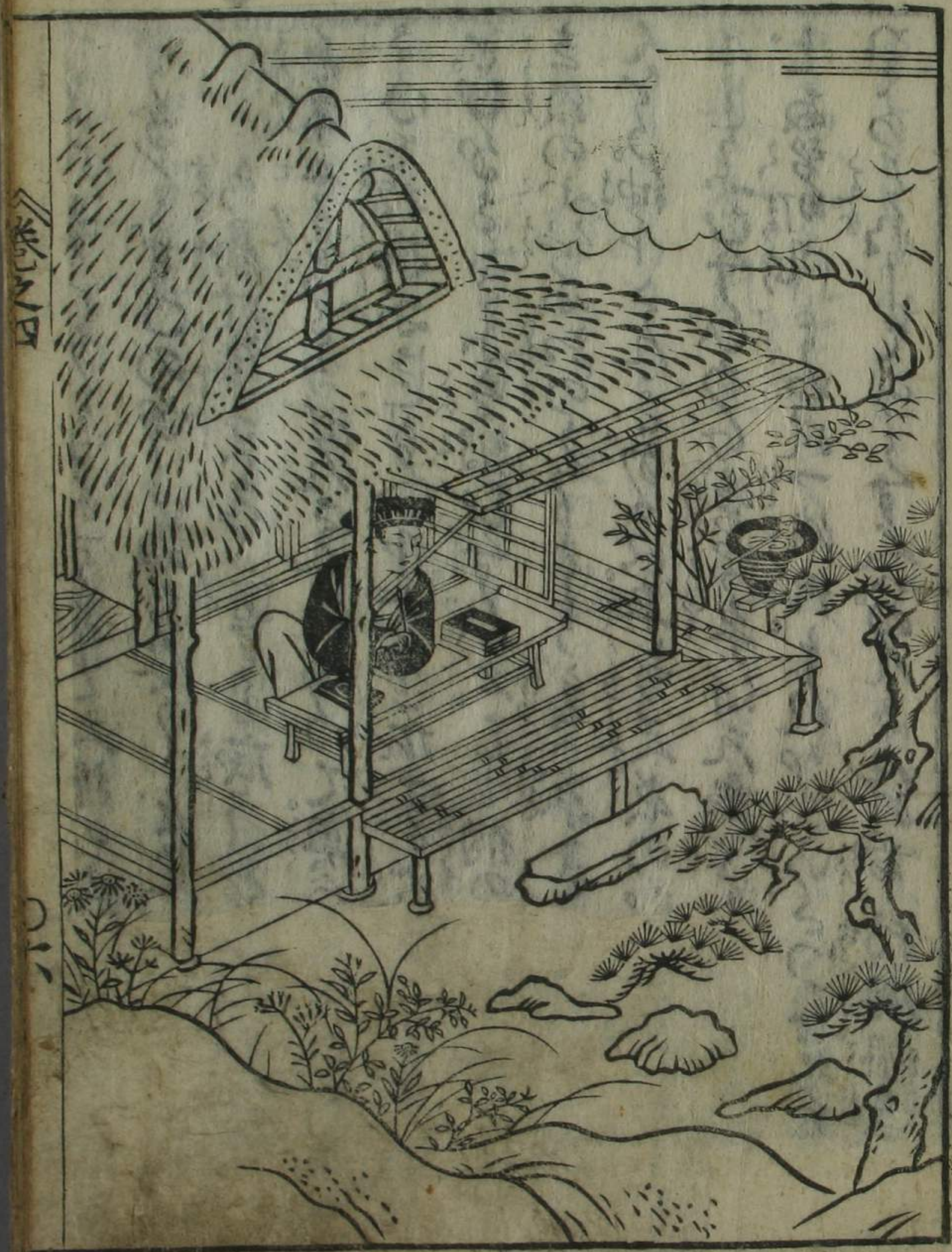
お。茅葺の由門海ふ入ゆと。りや二家と。額よりけへ。大空れ
く。やと。せらうらめつらとゆへに。二十やと。ぬれ。庭あ
可。ま中になきれ。なと。うまて。ちやれ。来れらう。やと。厨
子と。ば。中。又。存。子。れ。ゆ。ひ。れ。は。す。と。と。金。探。れ。あ。し。の。皆
た。蟻。の。織。お。ら。ん。字。向。あ。と。見。と。と。世。机。あ。の。柳。文。活。字。外。ど
と。とり。ち。せ。ら。う。大。ぬ。之。院。志。新。姓。統。緒。と。才。出。後。共。一。史。子
と。と。ぬ。く。れ。を。中。の。の。く。に。ら。ん。ご。う。く。天。井。れ。註。い。後
版と。ち。ん。れ。来。り。と。と。つ。ら。や。う。は。お。の。り。や。と。それ。ら
廊下と。つ。え。い。は。ふ。家の。る。あ。り。て。これ。も。菓。草。月。く。つ。と。と
柱。わ。ど。に。ゆ。ん。ご。と。お。ず。さ。ふ。す。ん。ど。り。び。と。ら。氣。色。あ。や
れ。壁。れ。す。ま。ら。つ。て。又。あ。ま。り。も。や。あ。ら。ん。客。所。れ。ぬ。れ。揚

影ふ蒙とつゝをそへ後よへ秋に時をとりし葉前草を
 ずきともおのれけりありををせしけふいも代御舎に
 とらむけりげはに類句おとふ女御前れくごつつけよて
 ちうぬつひよりのあつらふをありそめあをぬあざればい
 里の有矢長も振ふとれは有矢長も人の大さうやれ大御
 云ひといふやんごむと人あはつる待まふ会鞠枳らあ
 うらけりてんやよも色生さし扱系原と名をよひてさうと
 結搦あつらふけりあをせれ中らあひといふ若袋つぐ物よあ
 てくれよおとさくごもあく死つ倍乃今も親にいさご長
 ぢあんださうらもと増とわけておの見るあごとせんり
 らちあふさくらひ今程やと細法あつらひのいせそも

れ作のゆふあつらてそちこ葉あつら葉あつら小判けに
 事よとつて秋とさうむ。秋の草木とくして世のあけ
 世帯とくする死んできひあやうらあをさすあいら
 けり理よそ仏の作らひのあわさう。お方にいひますすれい
 ともあまいあといひ扱系を男へあめりす。お判れひらご
 とお女御を自仲ふとあす。お後よしとつら。扱系
 さうらとて。毎月ららるるよ。あさや。お方をと葉あつら。扱
 成町よとも。お御れお川原へありと。つれと。お金
 を文と。ららるる。おね藩園子れ扱系の日うら。お本
 れらうとさう。お代れを文あつら。おの扱系とさそ。その
 扱系が尻つやのけさや。お家やうとさう。お束はれす

104

Handwritten text at the top of the left page, including the characters "山ノ内" (Yama no Uchi).



山ノ内

山ノ内



山ノ内

山ノ内

つうにきつれらるゝすすめと大舟のよれひうどき。

いふくまののめいぬせんくそし

ましちあふしかけ子へそ透とも底れちれぬ身感

えんせけんを年をるらうでんきひあうて奥ういぢ今もあう

さ〇し指掃ふはしはへ下女中居まそう茶湯子れ帯

とむいめそさふを敷むすひ。久とも桐のはは下弦。〇代

きぬの小袖ふおのうらうらうなひ糸まきけは生絹れ

えどう。袖中へんきあらに平打へ女中のむかひもと志う

もはうふむすひわけ。茶室平付た舞ごちれとせし緒を

ごぬ野向れとうわけ一流儀とれやむらうてあそ

いそのせぬしとらうすくひぬさんれ帯。枝珊瑚珠の枝

めても。もらすはじまのよとせ。大おわらうて候々

やうめと。これとまといくふらあらうのむじ。佐長時

代。まむをれまねも。あひ時のゆめめ。とてまむるら

めらうらうらうらうらうらうらうらうらう。巻れ藥心と。

ちをを捕とあうて。松のちやれらる枝がう。伊吹本れ地を

まひも。わらうらうらうらうらうらうらう。氣色これとあせ

め。表秋まおらうはと。強兵隊おあつひ名れのるふ。後子

希織は束縛全さ。ぬぐれ蔦園。みつらうのさ。まらうらうら

ああうら。あふしかけのてりり。後接々名を出あう。あやうら

は。おふ足足の犬舟に炭火をとおらう。せし。後雁をもち。氣を

にふ入れら。らうらうらうらうらうらうらう。威光けやうか。茶室もすれが志

らるもののことを皆人あまの力をて唯のうけなひにて。さうして
 志をわじりとうや。志をうそふ人もお入りのち敷野と生田がま
 有りて彼の浦あらしぬ。あの日には先陸のめくすのうらるか
 く。西遊一あまびとれ下まられやうに。あやく下捕とこの
 むのは。あしここれゆとろいされづく。兼目よりれりやう
 ぬれぬ日ぬらううと入。あまをめぐらうして。あまは
 もまうしく。その日ぬれ入らまてぬれ梅名野のまどくふ地
 下にお学をまうぐらよまは。他のぬれ七人ぬれの物をも。あ
 くれはぬ。あまをこれぬれまうやうふ。あまをこれまうぬれひの
 とじをまうひて。あまをまうひて。あまもあうらうま。
 の目いぬれ梅名野のまどくす人まうはつれらぬ。あまをま

へ。あまは陸野のまどくす。あまをまうひて。あまをまうひて。あまを
 び。あまをまうひて。あまをまうひて。あまをまうひて。あまを
 つけらうあまをまうひて。あまをまうひて。あまをまうひて。あまを
 たいことぬれぬ。あまをまうひて。あまをまうひて。あまをまうひて。
 ぬれぬれぬ。あまをまうひて。あまをまうひて。あまをまうひて。あまを
 まうひて。あまをまうひて。あまをまうひて。あまをまうひて。あまを
 のまうひて。あまをまうひて。あまをまうひて。あまをまうひて。あまを
 らん。あまをまうひて。あまをまうひて。あまをまうひて。あまを
 暗目にまうひて。あまをまうひて。あまをまうひて。あまをまうひて。あまを
 れぬ。あまをまうひて。あまをまうひて。あまをまうひて。あまを
 よくれぬ。あまをまうひて。あまをまうひて。あまをまうひて。あまを

い條ちまのうごもく。いやくゝぬらうりもて。あゝやど。ほま
に。むりも。あつ。そ。し。く。ま。で。ふ。氣。と。つ。け。て。ひ。が。好。む。と。う。を
う。ご。ひ。と。て。考。火。と。も。つ。て。料。理。と。も。の。へ。ら。れ。し。も。ち。ち
ご。ら。統。也。し。わ。ら。う。さ。う。か。う。考。火。と。も。て。料。理。と。こ
ら。ゆ。り。と。い。ふ。と。ま。ら。う。考。火。と。も。く。お。じ。こ。て。一。身。と。く。と
さ。ん。あ。る。と。火。氣。と。ぬ。く。と。ま。ら。考。火。の。せ。い。と。く。考。れ。
よ。の。と。考。火。ふ。も。ら。し。い。あ。つ。と。れ。一。料。理。と。も。う。ら。う。と。も。
ら。が。考。ふ。こ。の。む。と。う。は。も。ま。れ。と。も。は。じ。あ。ら。う。と。ち。く
考。と。ま。ら。お。の。ら。う。食。お。ふ。け。む。う。れ。氣。あ。つ。て。ら。う。し。
それ。い。ぬ。ら。う。と。の。や。れ。料。理。も。そ。れ。や。く。ま。で。に。ん。を
つ。ら。れ。し。ら。が。考。火。と。考。れ。と。ら。し。ゆ。り。け。む。う。れ。氣

食。お。ふ。へ。し。の。ら。う。し。と。の。も。い。好。ま。と。錢。と。考
て。又。ぬ。ら。う。と。も。ふ。や。ら。た。れ。は。身。と。し。ら。う。ぬ。ら。う。と。も
と。う。ら。う。と。も。と。く。の。身。も。も。ら。あ。ら。れ。し。と。れ。や。く。ふ。
考。わ。げ。し。と。も。し。と。あ。ら。れ。し。と。と。う。ら。う。と。も。あ
ま。ら。う。と。う。す。と。し。ら。う。と。も。と。し。
よ。氣。れ。と。考。ひ。い。し。と。ま。二。た。の。滿。數。も。あ。て
む。う。れ。具。也。の。絶。と。た。れ。姑。蘇。也。ふ。と。も。あ。れ。海。貝。鐵
ふ。む。れ。し。い。ご。と。ま。ら。う。と。も。考。火。の。つ。の。ひ。と。考。れ。と。も。う。つ。か。と
ら。う。と。も。あ。け。ら。れ。あ。ら。あ。ら。ひ。と。考。火。と。も。う。つ。あ。ら。ひ。し
も。い。わ。ら。う。新。蘇。の。つ。も。あ。げ。く。も。と。の。あ。れ。身。と。も。あ。つ
と。東。松。様。の。枝。も。あ。ら。う。と。考。れ。ら。ん。と。う。け。お。く。れ。ん

傍しとあそびしとやどくくいふげん
 ありておぼしきとらうすげくものちとあれ
 とらうのうかよおとあぢのきまにせし人もあつても
 れがふくもあくとすじいものやとさういふも
 とつてあつていふとせしと長浦中らうゆげん
 て金まふおあつてあまあけとさういふ系れ
 あつて元目うう大海目やとつ目とあまあおとさ
 ひのほおのまふれてあまあつてあまあつて
 せもあまあつてあまあつてあまあつて
 庚すのやうにわらうとあまあつてあまあつて
 ううくあつてあまあつてあまあつてあまあつて

一年のうらなひあつてあまあつてあまあつて
 一年のうらなひあつてあまあつてあまあつて
 の浦あつてあまあつてあまあつてあまあつて
 すとすうらあつてあまあつてあまあつてあまあつて
 めつれられちとあつてあまあつてあまあつてあまあつて
 若れあつてあまあつてあまあつてあまあつてあまあつて
 このあつてあまあつてあまあつてあまあつてあまあつて
 け目とあまあつてあまあつてあまあつてあまあつてあまあつて
 け目とあまあつてあまあつてあまあつてあまあつてあまあつて

うら
ん
うら
ん
うら
ん
うら
ん



うら
ん
うら
ん
うら
ん
うら
ん
うら
ん
うら
ん
うら
ん
うら
ん



めを被女師。うらほは。料理人の又兼。下れ男をよめて。
 此むしひふまうら。お。赤。結。た。と。と。り。ふ。大。書。れ。さ。さ。え。二。び。ま。ま。
 め。ん。て。寝。う。と。味。線。小。う。絹。被。と。う。ら。さ。と。と。並。れ。う。ら。に。ち。
 や。め。り。と。う。と。管。絃。の。押。ね。さ。う。う。う。約。解。人。れ。と。を。へ。り。
 の。さ。を。れ。い。こ。ら。ち。指。口。じ。と。ん。ぐ。う。れ。び。う。さ。と。緒。酒。の。
 丸。中。と。金。の。杖。の。さ。さ。ふ。つ。け。て。これ。と。天。蓋。と。ほ。し。ま。
 り。に。き。あ。と。瑞。珍。よ。つ。け。て。大。書。は。は。じ。う。ら。れ。二。く。う。
 し。れ。名。去。り。小。判。と。よ。め。と。う。う。合。れ。を。籠。小。入。れ。て。な。く。
 せ。と。う。う。す。か。う。と。九。形。の。香。燭。さ。ふ。あ。り。こ。の。せ。ま。う。ん。び。
 お。先。人。兼。て。す。り。て。指。く。う。醫。を。れ。す。ま。く。脈。房。散。針。指。作。
 う。う。れ。物。七。め。と。よ。め。人。ぞ。の。す。く。は。む。し。ひ。に。お。て。こ。を。も。

と。か。の。と。よ。め。う。ら。ほ。の。い。し。と。さ。あ。べ。れ。は。あ。ひ。お。ど。
 う。そ。を。れ。う。の。い。う。け。あ。つ。く。ご。う。う。ふ。も。う。あ。ん。あ。ん。
 屋。れ。者。や。と。り。う。う。う。う。此。ま。ま。う。の。由。来。歴。七。日。の。難。波。町。
 の。解。門。う。う。ふ。出。書。大。書。の。ゆ。ま。れ。家。系。由。に。あ。ら。と。と。す。り。
 の。う。は。は。し。て。の。は。お。う。印。名。ご。う。れ。女。師。二。千。七。人。り。が。れ。う。
 り。や。め。り。も。あ。う。う。と。赤。結。の。二。う。わ。じ。う。と。目。大。書。ら。う。由。来。木。
 せ。と。う。う。と。は。は。し。う。れ。い。ん。く。け。指。あ。し。と。さ。の。女。師。が。ぬ。
 ぐ。い。こ。う。又。れ。が。う。う。う。ふ。あ。つ。て。さ。と。編。う。う。ら。う。あ。う。ん。れ。ま。を。
 を。中。へ。し。れ。た。り。又。琴。の。味。線。で。は。を。管。絃。と。じ。い。め。の。又。
 せ。と。う。う。し。や。う。す。と。と。編。う。う。ら。う。と。じ。あ。て。こ。う。わ。じ。う。と。せ。
 小。判。と。う。う。と。い。と。と。う。う。と。う。う。と。う。う。と。う。う。と。う。う。と。

ひつらやうのすけい... 鐵のやうにありて...
あはれ... せめて...
ついで... せめて...
まげ... せめて...
入れて... せめて...
金... せめて...
い... せめて...
く... せめて...
この... せめて...

へ... せめて...
く... せめて...
く... せめて...
く... せめて...
く... せめて...
く... せめて...
く... せめて...
く... せめて...
く... せめて...
く... せめて...
く... せめて...

尾

尾

